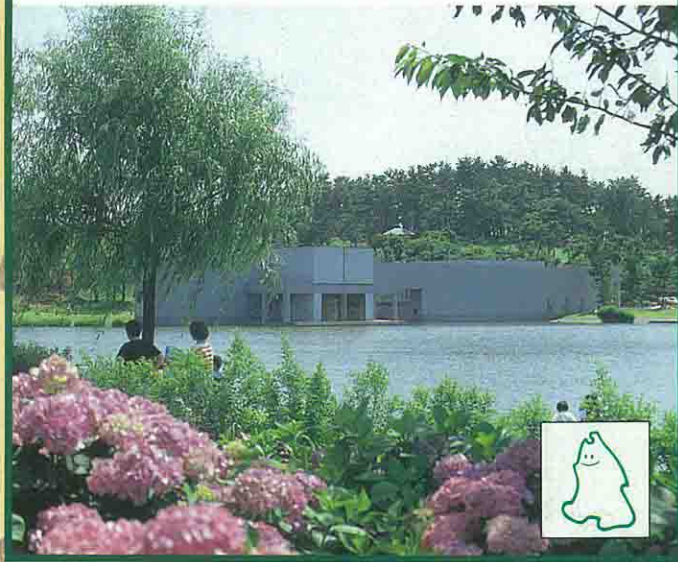


NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
新・奥の細道

鼠ヶ関ルート
①

最上川と日本海の交わるみち

Mogamigawa-to-nihonkai-no-majiwaru-michi



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

酒田までは
・JR山形駅より奥羽本線・陸羽西線で酒田駅まで約10分。
・JR新潟駅より白新線・羽越本線で酒田駅まで約20分。
・庄内空港よりリムジンバスで酒田駅まで20分。



観光・宿泊のお問合せ	酒田観光協会 〒998 酒田市中町2-5-10	☎0234-24-2233
	酒田駅前観光案内所 〒998 酒田市幸町2-1-1	☎0234-24-2454
交通のお問合せ	JR酒田駅 〒998 酒田市幸町1-1-1	☎0234-22-4102
	庄内交通バスターミナル酒田出張所 〒998 酒田市幸町2-11-1	☎0234-24-9292
コースのお問合せ	酒田市観光物産課 〒998 酒田市中町2-2-45	☎0234-26-5759
	山形県自然保護課 〒990 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2204

表紙の写真は、土門拳記念館

みどころ案内
GUIDE

南洲神社

Nanshu-jinja

庄内南洲会が創建。同会は西郷隆盛（南洲翁）を慕い、尊敬する人々の会で、南洲神社には、南洲翁と菅原実秀の二柱が祀られ、毎年9月24日には例大祭が行われます。

同敷地内にある南洲会館には講堂や展示室等があり、南洲会館内には翁の遺墨や遺品が数多く收藏されています。

また、講堂では「南洲翁遺訓」の研究会などが開催され、南洲文庫には研究資料、郷土資料等、13,000部以上にものぼる多くの蔵書があり広く一般に公開されています。

◆お問い合わせ/
財団法人 庄内南洲会
☎0234-31-2364



南洲神社

飯森山公園

limoriyama-koen



飯森山山頂

アジサイ園

飯森山公園は最上川の左岸、市街地より南西に約3km、優美な飯森山と周辺農地を含め豊かな自然に恵まれた環境の中にあります。

公園敷地内には土門拳記念館、もくもく館等の文化施設。冒険広場、ピクニック広場等の野外設備も充実しており、飯森山山頂・展望広場からは鳥海山の裾野に広がる酒田市が一望できます。

また飯森山は、酒田市発祥の伝説「徳尼公伝説」の徳尼公が草庵（泉流寺）に住み、その身を仏門に帰依した場所ともいわれています。

◎もくもく館(休憩所)

酒田の気候風土にあった樹木が約90種植えられ、その樹木の説明板が設置されています。

休憩室は無料で自由に利用できますが、団体の場合は予約が必要です。

◆お問い合わせ/酒田市都市計画課 ☎0234-26-5745

*徳尼公伝説……文治5年(1189)平泉没落の際、藤原秀衡の遺臣三十六騎が一女性の(徳尼公)を守り庄内へと落ち延びてきた。後に彼らは酒田三十六人衆として酒田市の基礎を作ったという伝説。

土門拳記念館

Ken-Domon-Museum-of-Photography

酒田市出身の写真家・故土門拳氏の全作品(約70,000点)を收藏し、その保存をはかりながら順次公開する日本初の写真専門の美術館です。

個人の写真記念館としては世界で唯一のものともいわれており、設計

日本有数の穀倉地帯である庄内平野。単峰として絶大な美しさを誇る鳥海山。最上川は広大な平野を蛇行し、鳥海を右に望み、酒田にて日本海へと至る。「曇り空を海に入れたり最上川」落陽が織り成す一瞬の幻想を求める。ここが「最上川と日本海の交わるみち」。

は谷口吉生氏、造園は勅使河原宏氏、銘板年講は亀倉雄策氏と各界一流の手によって建造されました。

また、土門拳記念館はあじさいの名所としても有名で、6月下旬から7月上旬にかけて94種15,300株ものあじさいが咲き誇り、あじさいまつりで賑わいます。

入場料410円、休館日は毎週月曜日と年末年始(7~8月は無休)、開館時間は9:30~16:30となっています。

◆お問い合わせ/土門拳記念館
☎0234-31-0028



土門拳記念館

最上川と日本海

Mogamigawa-to-Nihonkai

山形県の母なる川・最上川。日本の三大急流の一つに数えられ、飯豊山及び吾妻山系に源を発し、米沢~山形~新庄を経て、酒田から日本海へ至る全長216kmの大河です。

かつて、この最上川から日本海へ至るルートは米を酒田に集積し、「西回り航路」によって酒田を日本有数の貿易港として発展させました。

また俳聖松尾芭蕉が、酒田の豪商寺島彦助宅で俳諧の連歌の発句として詠んだ「涼しきや海に入れたる最上川」は、夕日が最上川の注ぐ海の彼方に沈んで行く夏の日の一瞬を詠んだもので、この場所の情景を描いており、現在も変わらぬ美しさを見せてくれます。

このように、最上川と日本海は酒田市の歴史にとって重要な意味もっています。

◎連歌と俳句

連歌とは、数人と和歌の上の句と下の句を互いに詠みあっていくもので、発句とはその最初の「句」です。また、俳句は、この発句が一つの「歌」として独立したものです。

酒田の歌会で、芭蕉により発句として詠まれた

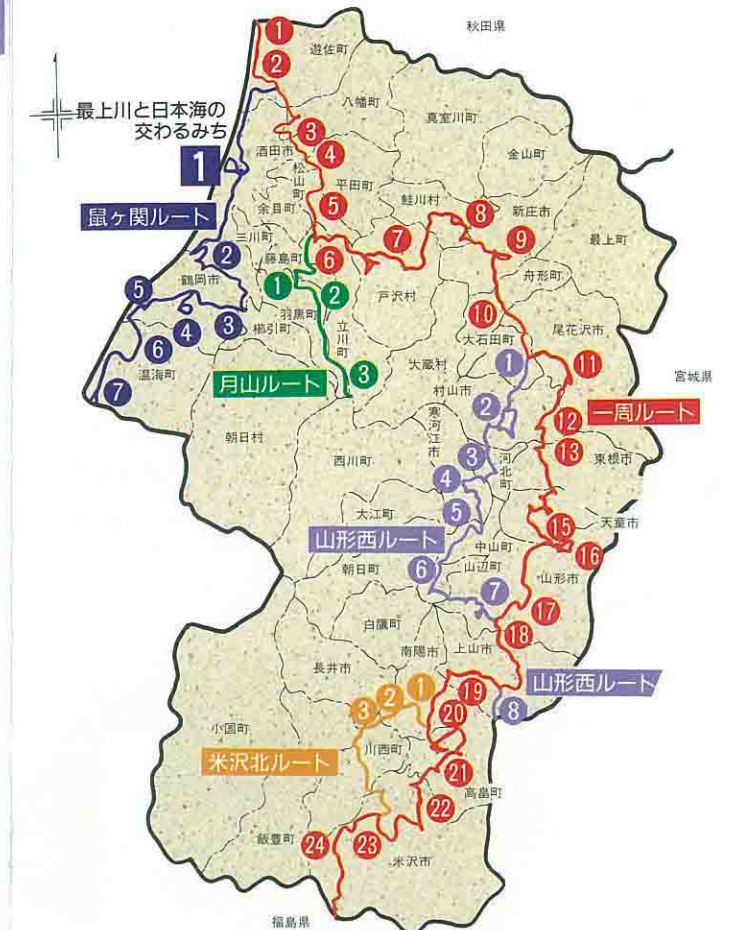


日本海の夕日

“涼しきや 海に入れたる 最上川”は、“奥の細道”としてまとめられる際に、“曇り空を 海に入れたり 最上川”と改められました。

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経路して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで792kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元元融資を受けてつくられました。